

# 令和4年11月期 業務実績報告書（経営総務課）

## 一般事項

### 1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,359	243,963	243,300	243,713	663	250
2 調定水量	m <sup>3</sup>	628,473	5,133,597	5,194,000	5,198,902	△ 60,403	△ 65,305
3 調定料金(税抜)	円	169,296,135	1,378,745,085	1,388,000,000	1,392,181,554	△ 9,254,915	△ 13,436,469
4 口振加入件数	件	25,005	200,584	—	200,945	—	△ 361

### 2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,946	151,278	151,060	148,868	218	2,410
6 調定水量	m <sup>3</sup>	392,088	3,151,902	3,130,800	3,159,046	21,102	△ 7,144
7 調定料金(税抜)	円	62,239,602	500,284,212	494,253,000	499,516,047	6,031,212	768,165

### 3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	75,361	—	76,622	△ 1,261
9 給水件数	件	30,168	—	30,177	△ 9
10 開栓処理件数	件	173	2,131	1,972	159
11 閉栓処理件数	件	236	2,120	1,973	147
12 給水工事設計審査	件	38	354	385	△ 31
13 給水工事竣工検査	件	40	493	430	63
14 経年メーター交換	件	438	3,321	3,071	250
15 メーター口径変更	件	8	44	47	△ 3
16 督促状発送数	件	1,244	10,778	10,689	89
17 月末停止件数	件	96	—	85	11

### 4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	36	272	259	13
19 排水設備工事完了検査	件	24	234	218	16

### 5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	196,264,246円	87.06%	195,644,802円	87.21%
21 過年度分	3,444,259円	98.17%	4,006,017円	97.93%
22 計	199,708,505円	-	199,650,819円	-

### 6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	80,597,594円	85.35%	79,100,344円	85.59%
24 過年度分	647,960円	99.17%	762,864円	98.68%
25 計	81,245,554円	-	79,863,208円	-

### 7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	3,253,520円	91.33%	3,751,900円	89.36%
27 過年度分	1,845,900円	16.50%	2,336,000円	12.48%
28 計	5,099,420円	-	6,087,900円	-

### 登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

## 特記事項

### 1. 11月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ・上水道事業

##### ア 収益的収支

当期の給水収益は185,856千円(税込)で、前月期に比べて2,519千円の減、対前年同月比では2,332千円の増となっています。営業収益は213,264千円、営業外収益は事務手数料や補償金など5,718千円となりました。特別利益は花山ダム管理費精算還付金として22千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など87,065千円、特別損失は災害復旧費用として1,366千円を執行しました。

##### イ 資本的収支

当期の収入は、加入金として396千円の執行となりました。支出は、建設改良費として調査設計費や災害復旧費など21,835千円を執行しました。

##### ・下水道事業

##### ア 収益的収支

当期の下水道使用料は68,221千円(税込)で、前月期に比べて399千円の減、対前年同月比では1,199千円の増となっています。営業収益は68,225千円、営業外収益は、雑収益として2千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など79,936千円、特別損失は3千円を執行しました。

##### イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として災害復旧費や工事費など42,498千円を執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 水道週間作品コンテスト表彰式を開催しました

第64回水道週間作品コンテストの表彰式を、11月21日(月)に登米庁舎会議室で行いました。コンテストには市内小中学校の皆さんなどから合わせて398点の応募があり、審査の結果33人が入賞しました。入賞作品は、日本水道協会、日本水道新聞社主催の水道週間協賛懸賞募集に出品し、作文の部において4名が入選されました。入賞した作品は、12月1日から7日までイオンタウン佐沼店内に展示を行い、多くの皆様にご覧いただきます。



【作品コンテスト表彰式の様子】

【入賞作品を展示している様子】

#### (2) 市民参加の新たな森林づくり・秋

令和4年度「市民参加の新たな森林づくり・秋」植樹祭が11月8日(火)に東和町米川字北上沢地内で実施され、約120名が参加されました。大切な森林を次の世代に残していくのと同時に、水源水質環境の保全や、より良質な水の供給に対する啓発を図ってもらうことを目的に参加しています。上下水道部からは、職員10名が参加し給水車で水を提供しました。



# 令和4年11月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

## 水道施設課

### 経営分析の状況

#### ◎ 配水量の状況

（単位：m<sup>3</sup>）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	795,191	6,702,140	6,512,450	6,647,402	189,690	54,738
総配水量	744,052	6,260,598	6,086,410	6,207,601	174,188	52,997
1 有効水量	671,463	5,545,470	5,601,400	5,551,095	△ 55,930	△ 5,625
(1) 有収水量	631,429	5,169,085	5,229,200	5,230,929	△ 60,115	△ 61,844
(2) 無収水量	40,034	376,385	372,200	320,166	4,185	56,219
2 無効水量	72,589	715,128	485,010	656,506	230,118	58,622
(1) 漏水量	71,045	703,926	480,000	653,380	223,926	50,546
(2) その他無効水量	1,544	11,202	5,010	3,126	6,192	8,076
3 有収率	84.86%	82.57%	85.92%	84.27%	-3.35%	-1.70%

※ 当月期の最大配水量は、9日（水）に記録した【25,947m<sup>3</sup>】です。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	6	64,020	5	52,723	0	0	11,297	82.4%
配給水施設整備事業	42	1,095,902	28	634,040	10	65,733	396,129	63.9%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

### 特記事項

#### 1 凍結防止訓練の実施について

11月30日（水）に登米庁舎駐車場において、職員及び配水施設等維持管理業務受託者など17名が参加し、凍結防止訓練を実施しました。

今回の訓練は、水道管の凍結事故発生を想定し、解凍機と専用のチューブを使用して凍結部を温めて溶かす作業を実施し、凍結発生時に解氷作業が迅速に対応できるよう研修を行いました。

参加者は、この訓練を通して、凍結防止対策の重要性を改めて認識しました。



【訓練の様子】

#### 2 錦織浄水場膜ろ過ユニット薬品洗浄実施

11月17日（木）錦織浄水場において、株式会社明電舎・東北支店により、膜ろ過ユニット薬品洗浄作業を実施しました。この作業は、膜に付着したファウリング物質の除去を目的として行っており、2年に1回の頻度で実施しております。



【膜ろ過ユニット薬品洗浄の様子】

\*ファウリング物質…膜に付着した有機物や金属など

#### ◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m <sup>3</sup> /h)
	配水管	49	208.946
	付属施設	0	0.000
	給水装置	57	52.217
	計	106	261.163

【漏水調査結果：4月～11月（累計）】

※参考：漏水削減効果  
（金額換算）

約1,741,163円/日当たり  
算定：R3年度給水原価 277.79円  
累計漏水量 261.163m<sup>3</sup>/h  
261.163m<sup>3</sup>/h×24h×277.79円

## 下水道施設課

### 経営分析の状況

#### ◎ 処理水量の状況

（単位：m<sup>3</sup>）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	276,536	2,368,297	2,173,520	194,777		1処理場
特定環境保全公共下水道	49,707	439,773	444,816	△ 5,043		3処理場
米谷・錦織処理区	10,309	90,133	95,716	△ 5,583		
豊里処理区	28,621	255,747	251,400	4,347		
津山処理区	10,777	93,893	97,700	△ 3,807		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	12,099	100,555	103,370	△ 2,815		
農業集落排水	104,703	938,918	899,292	39,626		24処理場
迫地区	8,013	75,106	80,732	△ 5,626		
東和地区	2,675	23,342	24,832	△ 1,491		
中田地区	29,354	212,045	224,355	△ 12,310		
豊里地区	1,817	15,995	16,124	△ 129		
米山地区	42,320	440,080	391,473	48,607		
南方地区	20,524	172,351	161,776	10,575		R4. 4. 1時点
浄化槽(特地・個排)	43,131	349,333	336,239	13,094		2,015基
合計	486,176	4,196,876	3,957,237	239,640		

※各処理場ごとの処理水量及び有収水量などの内訳は、別紙登米市下水道施設等維持管理状況報告書を参照。  
※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	533,394	2	33,836	0	11,561	487,997	8.5%
ポンプ施設整備事業	1	25,000	1	23,100	0	0	1,900	92.4%
処理施設整備事業	82	336,958	43	159,476	36	48,592	128,890	61.7%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

### 特記事項

#### 1 包括的民間委託導入に係る研修会を開催

人口やマンパワーの減少など、今後の下水道事業の運営で抱えるさまざまな課題の解決に向けた一つの方策として、導入の検討を行っている包括的民間委託についての研修会を開催しました。

研修会には、(公社)日本下水道協会から講師を招き、制度の概要や既に導入している自治体の事例などをもとに講義を受けました。

今後も、持続可能な下水道事業の運営を行うために必要となる様々な課題への対策などについて検討を行って参ります。



【研修会の状況】

○浄化槽整備事業受付状況  
(11月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	80	0

※予定件数に達しましたので、受付は11月末で終了しました。

#### 2 浄化槽災害復旧工事の完了

令和4年11月30日に全ての浄化槽災害復旧工事が完了しました。この工事は、令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする震度6強の地震により被災した、市が管理する浄化槽67基の災害復旧工事をを行ったものです。